

# 学力向上先進地域視察研修 in 岐阜県岐阜市

## グループ別テーマ「活用する力を重視した授業改善」

### 取組の実際

#### ○ 「問題解決型学習」を取り入れた授業

岐阜市内の小・中学校における授業の中心は、「問題解決型学習」である。この学習で大切なことは、まず児童生徒が追求したくなる課題を設定すること。次に個やペアで考えさせ自分の考えを作らせること。そしてお互いの考えを発表し合い、まとめていくことである。これによって、考える力や説明する力が身についてくる。

#### ○ 予習・復習の徹底

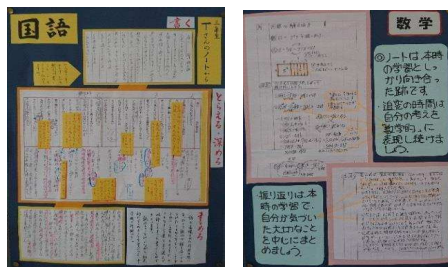
教師は必ず予習・復習ノートを点検・確認している。その結果、質問紙調査において家で予習・復習をしていると答えた生徒は右の表の通りである。

	家で学校の予習・復習をしている		
	視察校	福岡県	全国
H29予習	70.3	27.6	31.7
H29復習	68.1	47.6	50.5

予習・復習の取組が積み重ねられていることで、基礎・基本を活用する場面において、児童生徒が主体的に学習活動に臨むことができている。

#### ○ 掲示物の工夫

教室や廊下の目につきやすい場所に、各教科ごとに見本となる生徒のノートを例示している。【写真1】生徒の思考の過程が見て取れ、教師からのアドバイスが書かれているので、他の生徒も参考にすることができる。



【写真1】

### 今後の取組

#### 【教務担当主幹教諭として】

##### 問題解決型学習を取り入れたカリキュラムの作成

活用する力を身につけさせるために、全教科で各単元の中に問題解決型学習を位置づけた年間指導計画を作成する。

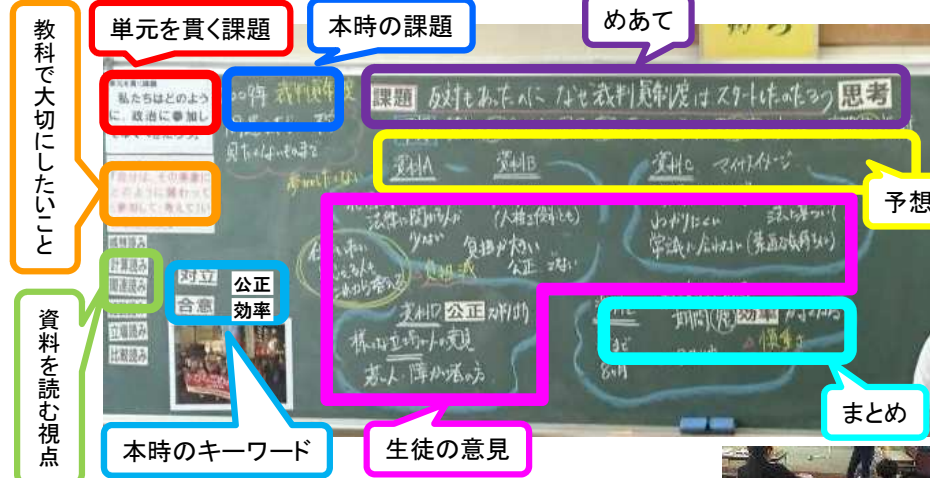
##### 毎日出す学習課題(家庭学習等)の提案

「基礎・基本の確実な定着」と「活用する力の育成」を目指し、単元計画に沿って予習・復習の課題を出し、点検する。また、模範となるノートのサンプルを掲示して、勉強の仕方の参考にさせる。

## 共通テーマ「授業づくりについて」

### 取組の実際

#### ○ 板書の構造化(例:中学校社会科)



#### ○ 交流活動の工夫

目的に応じて交流する人数と時間を使い分けている。

- (例) ・ 自分の考えを確かめたり、問題解決のヒントを得るために、ペアで1分間相談する。【写真2】
- ・ お互いの意見を比較し付加・修正するために、小集団で5分間意見を交流する。【写真3】
- ・ より考えを深めたり、まとめたりするために、小集団で10分間話し合う。



【写真2】



【写真3】

### 今後の取組

#### 【校内研修担当として】

##### 全教科で行う共通取組の提示

「追求したくなる課題提示」「構造化された板書計画」「交流活動の工夫」「ICTの活用方法」等、共通して取り組む内容を研究推進計画に示す。

### まとめ

- 学力を向上させるためには、全職員が、児童生徒に身に付けさせたい資質・能力や取り組む内容を共通理解し、同じベクトルで取り組むことが大切である。
- 校内研・授業研を通して評価・改善していき、質を高めていく必要がある。
- 「当たり前なことを当たり前にする」というスタンスのもと、「児童生徒の声が聞こえる授業(教師が説明ばかりしない授業)」を行うことが学力を向上させる上で大切である。